

「家がいいね」 第194号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2020.7.1



紫陽花（アジサイ）には雨が合う。ガクアジサイは、日本古来の種とか。変わる色も楽しみの一つ。

生き残りゲームで、疲れる子たちへ！

引き籠りの人にも、自らを承認してくれる空間時間がゲーム世界にはあるようです。米国の対戦ゲーム「フォートナイト」もその一つです。今や

小学生の参加も多く、授業中の居眠りを嘆く先生もいます。バトルロイヤルは無人数に降下した戦士が最後の一人になるため殺しあう設定。日本の20年前の映画が下敷きになっているようです。3Dの綺麗な画面で、武器を持って走り回るのは刺激的でしょう。コロナ禍の学校再開の中でこれより魅力的な世界の未来を示すのは課題でしょうね。



コロナが怖いのか、人が怖いのか

自粛期間が終わり、外出制限が解けても、人々は何かに怯えています。県境を越えてドライブする時は、他県ナンバーがどう見られるかに気を遣います。蒸し暑くてマスクが外せるか周囲を窺うのですが、視線が気になってしょうがありません。結局は他人にどう思われているかが怖いのです。

コロナは見えないからと、他人と相互監視です。これはおかしいぞと思えば、互いが和らぐ第一歩ですが、考え直せない人は厳格になり続けます。

3密回避策を全てで満たそうとするなら、2メートル離れ、言葉も無く、食事も衝立で隣と遮り、マスク+フェイスシールドになります。信頼できない人を相手に責任を持ったための恐怖の一面です。

仮想空間って、イイ所でしょうか

直接に相手に会えないので、TVではリモートのオンライン画像合わせが頻繁になりました。実はゲームの世界で、子どもが経験済みでした。登場人物に成り切り、新しい生活を始める物語がこの森です。農作業も魚釣りも体験し、徐々に改善

が形になっていく
穏やか世界です。
しかし物々交換
が課金に変化し
ここにも人間の
闇が侵入中とか。



熱中症の今から、コロナ再燃を考える

各戸を訪問する私たちが在宅スタッフが考えるのは、熱中症と同時に感染対策です。発熱があった場合、肺炎や膀胱炎など熱の原因をまず探ります。

もしもコロナの可能性を考える場合は、検査や入院の必要性、場合によっては自宅での療養などを、一緒になって考えます。風評被害にあわないよう、信頼関係に基づき対処します。重症化防止と共に、人間関係で傷つくことが無いように考えるのが、医療や介護スタッフの責務と思います。

7月からの健診や、がん検診は実施します

落ち着いた日程で、実施をご相談ください。

8月のお盆の休診期間のお知らせ

13日(木)～16日(日)です。定期休診日も含んでいます。この間も、在宅患者さんには、対応をいたします。



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp
<http://isezaitaku.com>



→バックナンバー閲覧可